

よかとこい巡り

Vol.1

錦江町内の知ってるようで知らないスポットを紹介します。

今回は、花瀬編です。



花瀬川

●花瀬川

川床が千畳敷の石畳で有名な花瀬川。名前の由来は、石畳の上を流れる水が気泡となり、白い花が咲いているように見えるからです。

河岸には、桜や町花でもある「やまふじ」などが自生しています。

撮影時には、あまり咲いていませんでしたが、様々な自然に囲まれ心休まる場所でした。

季節によって色々な草花が楽しめますので、一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

●お茶亭跡

薩摩藩主である島津光久、重年、斉彬なども来遊したお茶亭跡。現在では14個の釜が残っています。

当時は、様々な人が酒肴を持参し太鼓や踊りなどでにぎわったそうです。(花瀬でばい)

●花瀬神社

川の中に浮かんでいるような花瀬神社。

今回、はじめて訪れましたが、とても幻想的な風景でした。



やまふじ



お茶亭跡



花瀬神社



三国名勝図会（薩摩、大隅、日向の風景等を島津斉興の頃編纂。花瀬が描かれています。）